

特別付録

原寸大の赤水式星座早見盤を作ってみよう 今日からきみも江戸時代の天文学者になれる！

長久保赤水の星座早見盤の作り方と使い方

[作り方]

- 1 1ページが表紙。2ページの方から切り取り線に沿って四角に切り抜く。
- 2 同じく2ページの方から点線に沿って丸窓を切り抜く。
- 3 2ページの中折線を谷にして折り込む。これで表紙は完成です
- 4 3ページの星座盤を縁に沿って切り抜く。中央の点を針で穴をあける。
- 5 うら表紙内側中央の小さな十字線のまん中を針で穴をあける。
- 6 うら表紙と星座盤の穴の位置をあわせて、糸を通し、星座盤がわの末端を結んでコブをつくる。
- 7 うら表紙の外がわで糸を渦巻状にしてセロファンテープで固定する。
- 8 おもて表紙をふたにして重ねて完成。

[使い方]

赤色の線は天の赤道です。黄色の線は太陽の通り道（黄道）。

方角は「子」が北になり、「午」が南になります。

- 1 おもて表紙の「子」を北に向ける。
- 2 現在月を黄道の月から見つけ、現在月に6を足した数の月（半年後の月）を「午」にあわせる。（本当は子に現在月をあわせるのだが、月名が上蓋にかくれてしまう）
- 3 旧暦とは約一か月ずれるので、実際の月から1を引いた月に合わせる。（1月なら十二中、2月なら正中というぐあい）

見あげるとそこには、星座早見盤と同じ星空が広がっているはずですよ。